

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 2 日 (2021.9.2)

【公開番号】特開 2019-194151 (P2019-194151A)

【公開日】令和 1 年 11 月 7 日 (2019.11.7)

【年通号数】公開・登録公報 2019-045

【出願番号】特願 2019-103737 (P2019-103737)

【国際特許分類】

C 0 3 B 33/033 (2006.01)

C 0 3 B 33/037 (2006.01)

C 0 3 B 33/03 (2006.01)

B 2 8 D 7/04 (2006.01)

B 2 8 D 5/00 (2006.01)

B 2 6 F 3/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 3 B 33/033

C 0 3 B 33/037

C 0 3 B 33/03

B 2 8 D 7/04

B 2 8 D 5/00 Z

B 2 6 F 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

切り線が形成されたガラス板が載置される可撓性部材と、この可撓性部材を介してガラス板を支持する支持面を有した支持機構と、当該可撓性部材を介してガラス板を当該ガラス板の下面から受けるガラス板受け面を有しているガラス板受け装置と、このガラス板受け装置を移動させる第一の移動装置と、切り線が形成されたガラス板を切り線に沿って押し割る押し面を有している押し割り装置と、この押し割り装置を移動させる第二の移動装置とを具有しており、第一の移動装置は、ガラス板に対する押し面による押し割りに際して、平面視でガラス板の切り線で囲まれる領域外の位置にガラス板受け面が配置されるように、ガラス板受け装置を移動させるようになっており、第二の移動装置は、ガラス板に対する押し面による押し割りに際して、ガラス板受け面に対応して平面視でガラス板の切り線で囲まれる領域外の位置に押し面が配置されるように、押し割り装置を移動させるようになっており、押し面によるガラス板の切り線に沿う押し割りは、ガラス板受け面で撓まされたガラス板の切り線で囲まれる領域外のガラス板に対して行われるようになっているガラス板の折割機械。

【請求項 2】

ガラス板受け装置は、押し割り装置の押し面によるガラス板の切り線に沿っての押し割りにおいて、押し面のガラス板の押し付け予定面への押し付け前に、ガラス板の切り線と押し面によるガラス板への押し付け予定面との間のガラス板に撓みを生じさせるように、ガラス板受け面を上昇させるガラス板受け面の昇降手段を具備している請求項 1 に記載

のガラス板の折割機械。

【請求項 3】

第一の移動装置は、ガラス板の面に平行な面内で、ガラス板受け面を一の方向とこの一  
の方向に交差する他の方向とに移動させる移動機構を具有している請求項 1 又は 2 に記載  
のガラス板の折割機械。

【請求項 4】

第二の移動装置は、ガラス板の面に平行な面内で、押し面を一の方向とこの一の方に  
交差する他の方向とに移動させる移動機構を具有している請求項 1 から 3 のいずれか一項  
に記載のガラス板の折割機械。